

Cisco Meraki 導入事例 — 株式会社 陣屋 様 —

老舗旅館が目指した「おもてなし」のさらなる進化

— Cisco Meraki 活用によるネットワークの一元管理とこれからの展望 —



写真左:導入ユーザー(株式会社 陣屋 様)、写真右:販売パートナー(ディーアイエスリューション株式会社)

最新のデジタル技術を自社のビジネスに組み込み、さらなる飛躍を目指していく――。

そんな取り組みを進めているのが、神奈川県・鶴巻温泉の老舗日本旅館「元湯 陣屋」です。同旅館では、クラウド管理型ネットワークシステム「Cisco Meraki」(シスコ・メラキ)を新たに導入。自社開発のクラウド型旅館・ホテル情報管理システム「陣屋コネクト」と組み合わせることで、より最適なお客様サービスの実現や、スタッフの業務効率化に役立っています。

●導入ユーザー

株式会社 陣屋 様

<https://www.jinya-inn.com/>

約100年に及ぶ歴史を有する老舗日本旅館。豊かな湧水に恵まれた丹沢山麓に位置しており、美しい自然と名湯・鶴巻温泉のいで湯をゆったりと楽しむことができます。1万坪の庭園や囲碁・将棋のタイトル戦の舞台である「松風の間」も必見。また、先進ICTの活用にも取り組んでおり、多彩な機能を網羅したクラウド型旅館・ホテル情報管理システム「陣屋コネクト」を自社開発。国内200以上の宿泊施設でも導入・活用されています。

●販売パートナー

ディーアイエスリューション株式会社

<https://www.dsol.co.jp/>

ダイワボウ情報システムグループのICTソリューションプロバイダーとして、「クラウド・データセンターサービス」「システムインテグレーション」「アプリケーション開発」「コミュニケーションエンジニアリング」「システム運用＆サポートサービス」など、幅広い領域にわたるサービスをワンストップで提供しています。

事例のポイント

✓ 陣屋様のチャレンジ

既存の無線LANシステムで課題になっていた動作の不安定さを解消し、お客様へのサービス向上や社内の業務効率化に貢献する先進的なネットワークインフラを確立すること。

✓ Cisco Merakiを選んだ理由

「Wi-Fi接続端末の位置情報を取得する機能が備わっている」「アクセスポイントをクラウドで一括管理することで運用管理の効率化が図れる」などの点が採用の決め手に。

✓ これからの展望

陣屋コネクトとCisco Merakiを組み合わせ、お客様の位置情報を活用した新たなサービス施策を展開。また、自社実践で培ったノウハウを陣屋コネクトのユーザーにも提供。

経営危機を乗り越えるため旅館・ホテル経営システムを独自開発

小田急線・鶴巻温泉駅の駅前からほど近く、閑静な住宅街の一角に、鬱蒼とした緑に包まれた日本旅館「元湯・陣屋」は佇んでいます。

同旅館ではかつて深刻な経営危機に直面していました。この苦境を開拓するカギとなったのが、先進ICTによる業務改革でした。

第四代当主の宮崎富夫氏は「経営を立て直すには、働き方を抜本的に変えて生産性向上を図る必要があります。そこで『陣屋コネクト』と名づけたクラウド型旅館・ホテル経営システムを自ら開発。おもてなしに必要な情報を全スタッフが一元的に活用できるようにすることで、サービス向上と業務効率化を目指しました」と振り返ります。

これにより同旅館では、わずか数年で復活を遂げることに成功。現在では陣屋コネクトの外版も実施しています。



各スタッフはタブレットから「陣屋コネクト」を活用。お出迎えでは、單のナンバーからお客様を特定し、きめ細やかな対応ができます。

館内どのどこにいても必要な情報を得ることができます。各スタッフの気づきもすばやく音声やテキストで共有可能。

「陣屋コネクト」のさらなる活用に向け、無線LANの刷新に着手

そして今回、同旅館では、陣屋コネクトやお客様向けWi-Fiサービスの基盤となる無線LANシステムの刷新に着手しました。宮崎氏はその背景を次のように話しています。

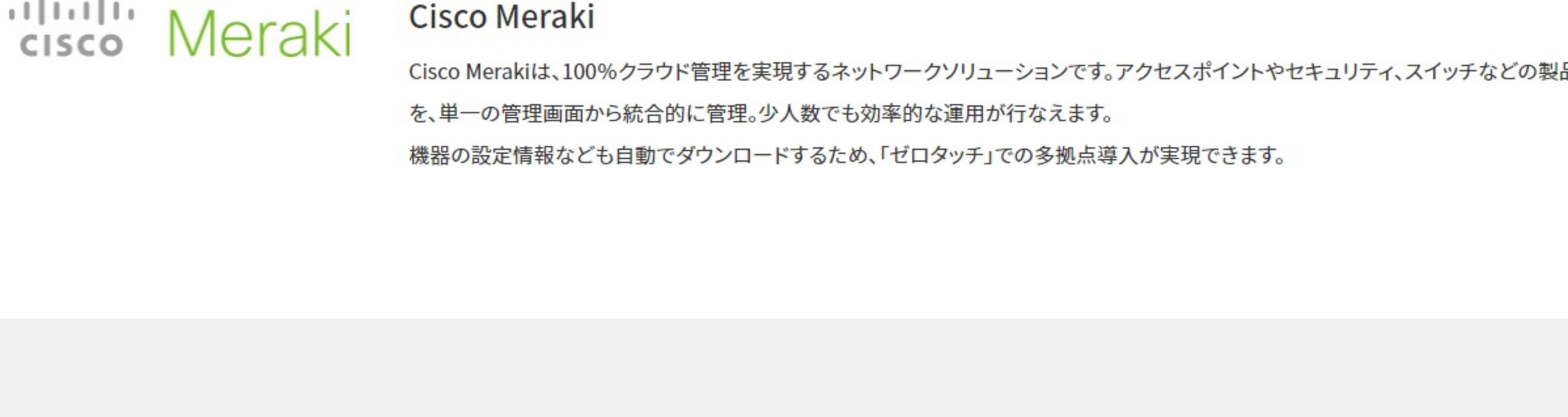
「既存の無線LANに接続不良などのトラブルが発生していたことが直接のきっかけです。無線LANが安定せず、滞在中のお客様から『つながらない』というクレームが頻繁によせられていきました。そのたびにアクセスポイント（以下、AP）やルーターを再起動して対応していましたが、何しろ敷地が一万坪もありますので、APの数が50台くらいに増えるとトラブル箇所の特定も難しくなり、復旧に時間がかかってしまうことが多くなっていました。外国のお客様などは無線LANがつながらないだけで帰ると言われたりするので、急場のことでデザリング用のiPhoneをお貸しすることもあります。スタッフも『またか』という感じで疲弊していました。」

宮崎氏がシステム刷新にあたり考えたのは、安定性の確保に加えて、外からでもネットワークの状況が見える化できるようになりますこと、そして顧客満足につながる新たなサービスの創造でした。

「お客様に最適なおもてなしを提供する上で、無線LANの安定性は非常に重要。また、現在当旅館ではIoTの活用にも取り組んでいますので、これを機に無線LANを活用した新たなサービスを生み出せないかとも考えました」と語ります。



元湯 陣屋 第四代当主 宮崎富夫氏



宮崎氏は、「Cisco Meraki」を活用したさらなる顧客サービス向上につながる構想を抱いています。

その実現をDISグループでは支援していきます。



©2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, Meraki, Cisco MerakiおよびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

Copyright © DAIWABO INFORMATION SYSTEM CO.,LTD. All Right Reserved.

